

青戸液江 あきと 國學者、歌人。安政四年十月八日出雲國生れ、昭和四年十一月廿一没（二八七—一九二九）。號錦清。落合直久、池邊義家等と伊勢神宮教院の學び、次ついでに共いっしょに大學と古典講習科の國學を專攻。宮内省出仕。國學院創設の當り主事として教務を督し、傍ら劍道を以て學生を薰陶。禮典祭儀の精しく、國學院大學禮典講師を務めた。

『青戸液江先生遺詠』

（昭和五年十一月五日顯彰教生論刊）かある。